

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ICM スクリプトで参照されているルートまたはスキル グループの削除](#)

[トラブルシューティング](#)

[問題：スクリプト参照ツール クラッシュ](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、特定のスクリプトで参照されているルートまたはスキル グループを削除する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM) 8.5.1 に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

ICM スクリプトで参照されているルートまたはスキル グループの削除

次の手順を実行します。

1. ICM コンフィギュレーションマネージャに行けば、All メニューが表示されます。
2. Configuration Manager ウィンドウで、> いろいろなツール > スクリプト リファレンス ツール 『Tools』 を選択して下さい。ザ・スクリプト リファレンス ツールはどのルーティングスクリプトが特定の設定レコードを参照するか示すレポートを生成することを可能にします。
3. 特定のスキル グループを選択し、どんなスクリプトをこの特定のスキル グループが参照されているかチェックインして下さい。
4. スキル グループが参照されるスクリプトを知っていれば、スクリプト エディタ アプリケーションを使用してそれらのスクリプトを削除できます。

トラブルシューティング

問題：スクリプト参照ツールクラッシュ

スクリプト参照があるスキル グループを選択するように試みる場合のザ・スクリプト リファレンス ツール クラッシュ。問題に関する警告または Log エントリがありません。この問題はルートがスキル グループと関連付けられる場合発生します。この問題は Cisco バグ ID [CSCsc43980](#) ([登録ユーザのみ](#)) で文書化されています。

解決策

積極的に利用されない場合この問題を解決するために、スキル グループからルートのアソシエーションを取除いて下さい。

関連情報

- [管理 ガイド Cisco Unified Contact Center Enterprise のための及びホストされる](#)
- [コンフィギュレーション ガイド Cisco Unified ICM/Contact センター 企業のためのおよびホストされる](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)